

2020年度 第1種委員会 事業計画

オホーツク地区サッカー協会
第1種委員会

1. サッカーリーグ

(1) 令和2年度 第39回 北海道学生サッカーリーグ

日 程	未定
会 場	未定

(2) 2020年度 第43回 北海道サッカーリーグ 第18回道東ブロックリーグ

日 程	令和2年5月10日 ～ 9月27日
会 場	北見モイワスポーツワールド 他

(3) 2020年度 オホーツク社会人サッカーリーグ

日 程	令和2年5月10日 ～ 9月27日 ※ 予定
会 場	北見モイワスポーツワールド 他

2. サッカー大会

(1) 2020年度 第38回 知事杯全道サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	令和2年5月24日(日) ※ 予定
会 場	未定

※ 全道大会：7月20日～8月18日 札幌他

(2) 2020年度 第27回 全国クラブチーム選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	令和2年6月14日(日) ※ 予定
会 場	未定

※ 全道大会：8月29日～8月30日 空知

(3) 2020年度 第56回 全道社会人サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	令和2年6月28日(日) ※ 予定
会 場	未定

※ 全道大会：8月8日～8月10日 苫小牧

(4) 2020年度 北海道サッカーリーグ 道東ブロックリーグ オホーツク地区入替戦

日 程	令和2年10月11日(日) ※ 予定
会 場	未定

(5) 2020年度 第4回 オホーツク地区社会人サッカーエンジョイ大会

日 程	令和2年10月4日(日) ※ 予定
会 場	未定

3. フットサル大会

(1) 第26回 全日本フットサル選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	令和2年11月29日(日)
会 場	未定

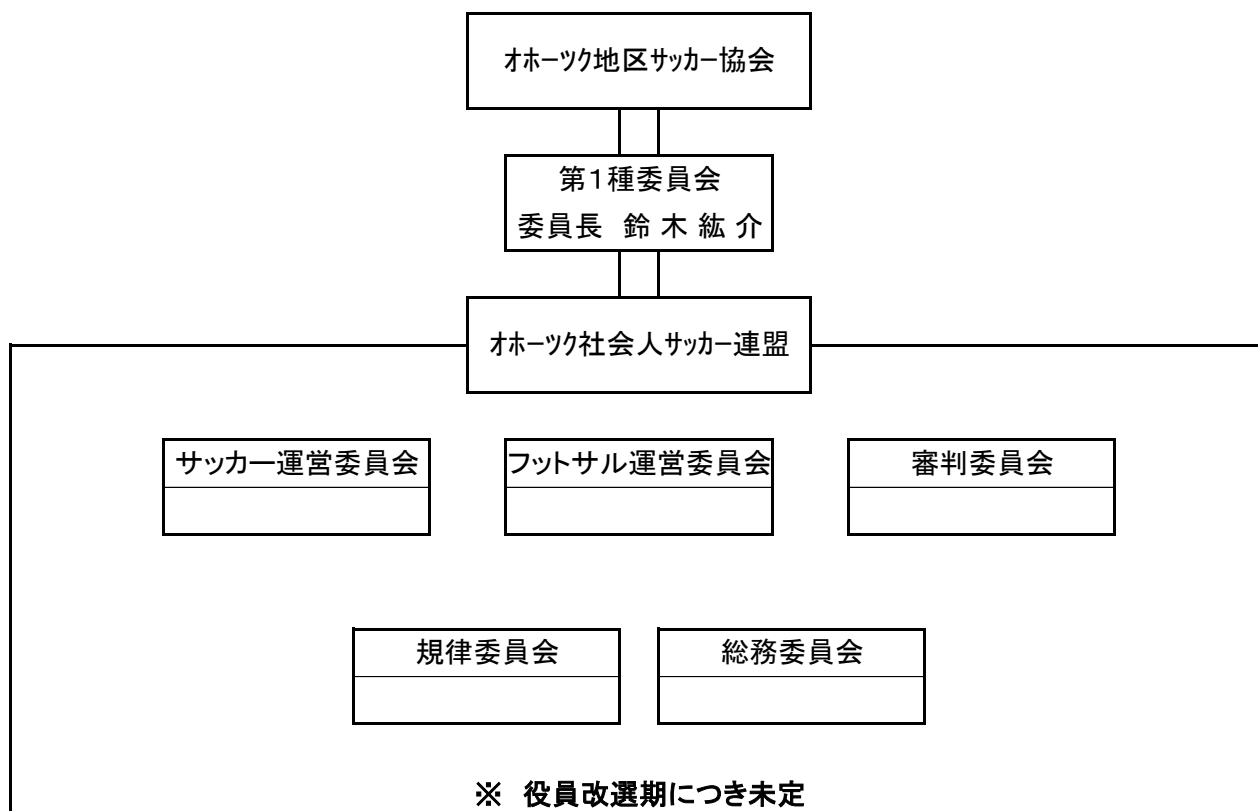
※ 北海道地域大会：1月9日～10日 十勝

(2) 全道フットサル選手権大会2021 一般の部 オホーツク地区予選大会

日 程	令和3年1月17日(日)
会 場	未定

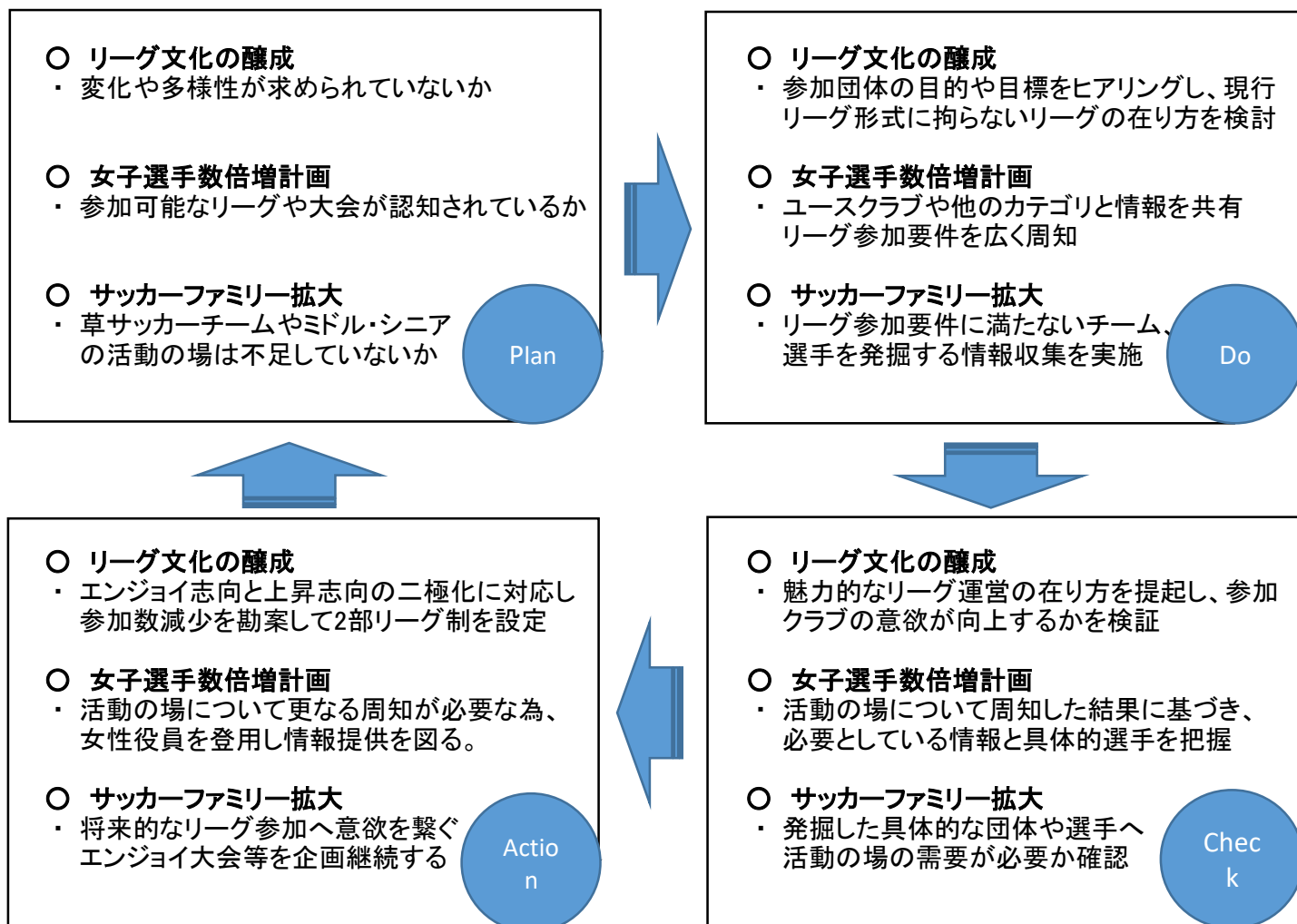
※ 全道大会：2月27日～2月28日 札幌

オホーツク地区サッカー協会 第1種委員会 組織図



AFA16 → 25プラン

オホーツク地区サッカー協会 第1種委員会



2018-2019 取組結果の検証

リーグ文化の醸成	リーグ状況から上昇志向とエンジョイ志向の二極化が更に進んでいるが、同時にクラブ継承の課題から、ガバナンスが脆弱なクラブが淘汰され既存クラブの廃部が進んでいる。同時に新規チームの創設も毎年散見される事から、リーグ全体の若返りを目指すとともに参加目的を考察した2部リーグ制を設定し、リーグ文化の維持に努めることが必要。
女子選手倍増計画	活動の場について他カテゴリとの情報共有が未だ不足している事から、第1種委員会として、現役女子選手を役員として登用し、広く直接的な情報発信に努め、第1種カテゴリの女子選手へアプローチを図る。
サッカーファミリー拡大	第3回を数えた社会人フェスにおいて、会場設定を各地域へ分散する事により、北見市以外の潜在的な選手及び団体発掘を目的とし、引き続き同大会を通じ新規加盟チームの創設に繋がるよう取り組みを継続する。

2020 年度オホーツク地区サッカー協会第 2 種委員会 事業計画

【1. 地 区 大 会】

- (1) 2020 年度高体連シード決定戦、春季フェスティバル
日 程：4 月 29 日（水）、5 月 3 日（日）～5 日（火）
会 場：遠軽町、北見市
- (2) 2020 オホーツク地区 FA プレリーグ、FA リーグ
日 程：(FA プレリーグ) 4 月 18 日（土）～7 月 5 日（土）
(FA リーグ) 7 月 11 日（土）～10 月 18 日（日）
会 場：北見市・網走市・紋別市・美幌町他
- (3) 第 73 回高体連北見支部サッカー選手権大会
兼第 73 回全道高等学校高校サッカー選手権大会北見支部予選会
日 程：5 月 20 日（水）～23 日（土）
会 場：モイワスポーツワールド
当番校：北見北斗高等学校
- (4) 第 99 回全国高等学校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会
日 程：8 月 29 日（土）～30 日（日）/ 9 月 5 日（土）～6 日（日） 予備日 9 月 12 日（土）
会 場：えんがる球技場
- (5) 2020 年度第 49 回高体連北見支部新人サッカー選手権大会
兼北海道高校ユースサッカー新人大会北見支部予選会
日 程：9 月 23 日（水）～25 日（金）
会 場：モイワスポーツワールド
当番校：北見緑陵高等学校
- (6) 第 32 回全道ユース（U-18）フットサル選手権大会
兼第 8 回全日本ユース（U-18）フットサル大会北海道予選オホーツク地区予選
日 程：12 月 12 日（土）
会 場：遠軽町総合体育館

【2. 地区フェスティバル】

- (1) 第 28 回オホーツクサッカーフェスティバル
日 程：8 月 7 日（金）～10 日（月）
会 場：北見市他

【3. 道 東 大 会】

- (1) 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2020 道東ブロックリーグ
日 程：4 月 17 日（土）～9 月 26 日（土）
参加校：網走南ヶ丘高校（2 部）、遠軽高校（3 部）
- (2) 2020 年度第 8 回東北海道高校ユースサッカー新人大会
日 程：11 月 7 日（土）～8 日（日）
主 管：釧路地区サッカー協会

【4. 全 道 大 会】

(1) 2020 年度第 73 回北海道高等学校サッカー選手権大会

兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会

日 程：6月16日（火）～19日（金）

会 場：十 勝

(2) 2020年度第99回全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会

日 程：10月12日（土）～14日（月）/ 19日（土）～21日（日）

会 場：札 幌

(3) 第 32 回全道ユース（U-18）フットサル選手権大会

兼第 8 回全日本ユース（U-18）フットサル大会北海道予選

日 程：未 定

会 場：未 定

【16→25プラン（2種委員会）】

プラン	リーグ文化の醸成	女子選手の普及	ファミリー拡大
内 容	・道東ブロックリーグ参入チームを複数とする。	・各学校での積極的な受け入れを促し、地区 FA リーグに出場する女子選手を増やす。	・高体連及び選手権の全道大会出場チームによる大会報告を行う。
効 果	・真剣勝負をする場が長期にわたって展開されることにより、魅力あるチーム作りにつながる。	・女子選手が、高校年代でもサッカー（試合）ができる環境が増える。	・全道大会のレベルを知ることにより、それを目指した取り組みが行われ、魅力あるチームを多く作ることができる。 ・オホーツク地区の選手が全道大会で活躍することにより、子どもたちの目標となっていく。
反 省	・昨年度から 2 チームが参加している。	・若干名だが、サッカーを続けている女子選手がいる。	・大会報告を協会 HP に掲載するとともに、各学校のトレーニングに反映させている。
改善点	・各学校の状況に応じて支援の方法を検討する。 ・費用の面で参入が難しいのであれば、大会参加料の一部負担を地区協会に要望する。	・継続して実施する。 ・女子マネージャーの審判資格取得を推進し、女子が高校サッカー（試合）に関わる環境を増やす。	・継続して実施する。

【組織図（2種委員会）】

役 員	常任委員	専門部	各種事務局
委員長	遠紋地区代表	技術部長	地区 FA リーグ
副委員長	北見東地区代表	審判部長	高校選手権
高体連専門委員	北見西地区代表	情報部長	フットサル
会計	斜網地区代表	医科学部長	春季フェスティバル
会計監査			オホーツクフェスティバル
			（東北海道高校新人）

2020(令和2)年度 オホーツク地区サッカー協会第3種委員会 事業計画

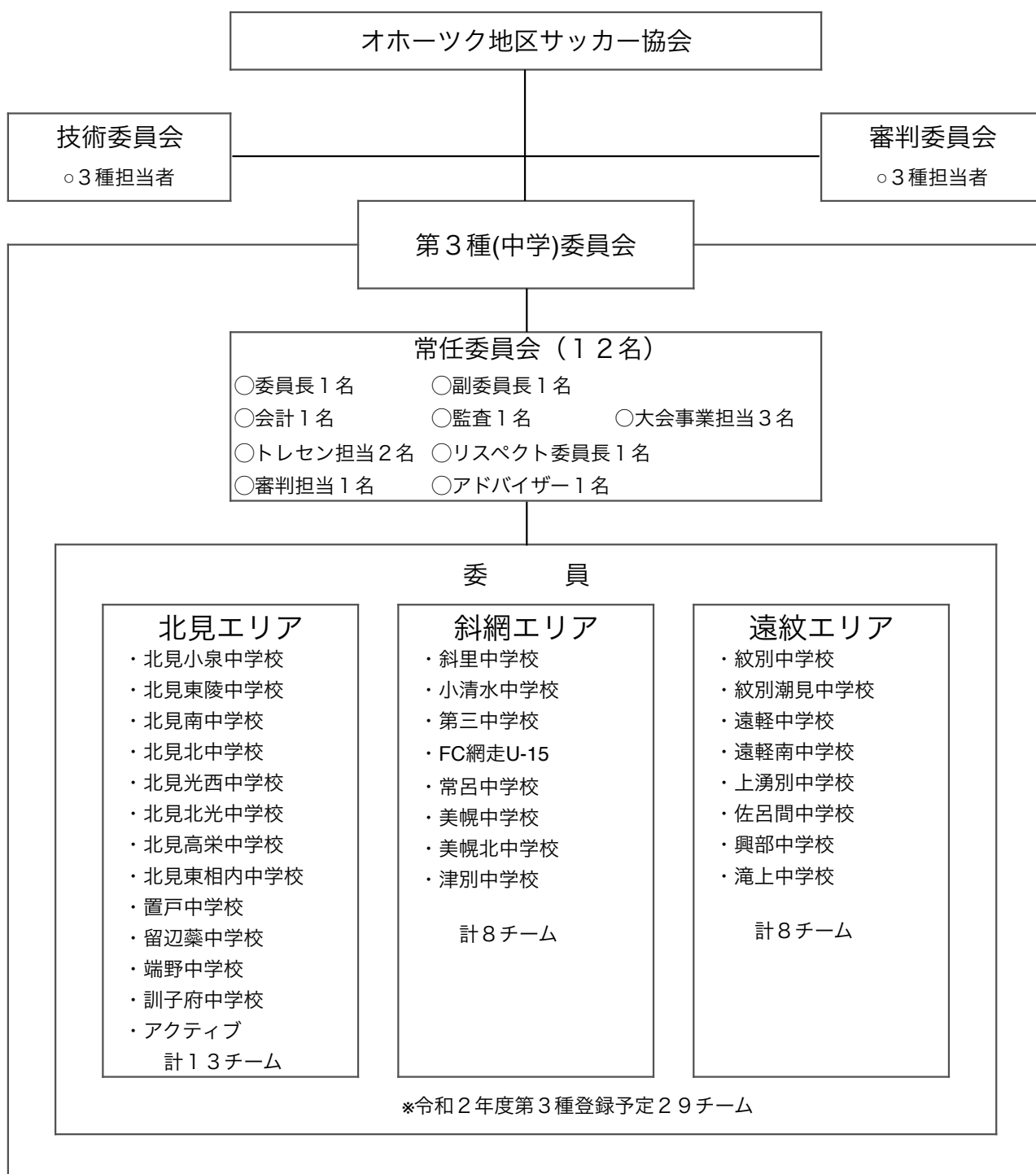
○地区大会

期 日	事 業	会 場	担 当
5月16日～10月3日 (基本的に土曜日開催)	OKFAカブスリーグ U-15/U-13	管内各地	リーグ運営委員
6月27日(土)・28(日) 7月4日(土)	オホーツク地区中体連	北見モイワスポーツワールド えんがる球技場	中体連専門委員 ほか
11月7日(土)・8日(日)	フットサルU-15	紋別スポーツセンター	フットサル担当者
令和3年1月30日(土)・31日(日)	フットサルU-14	遠軽町総合体育館	

○道東ブロック大会・北海道大会日程

期 日	大 会 名	主 管 地 区
4月19日(日)～10月25日(日)	北海道カブスリーグU-15/U-13(2部)	全道各地
5月2日(土)～10月10日(土)	道東ブロックカブスリーグU-15/U-13	道東ブロック各地
10月24日(土)・25日(日)	道東ブロックカブスリーグ 参入戦	中標津
7月29日(金)～31日(日)	北海道中体連	千歳
10月10日(土)・11日(日)	地区カブス決勝大会	夕張
10月10日(土)・11日(日)	4地区カブス交流大会	網走
11月14日(土)・15日(日)	フットサルU-15 道東予選	サホロ
12月5日(土)・6日(日)	フットサルU-15 北海道予選	苫小牧
令和3年3月6日(土)・7日(日)	全道フットサルU-14	釧路

オホーツク地区サッカー協会第3種委員会 組織図



OKFA 16→25プラン 第3種委員会

【2025年に向けたプラン】

リーグ文化の醸成	・カブスリーグの通年化、ゲーム環境向上 ・道東カブス、道カブスリーグへのチーム輩出
女子選手の環境整備	・女子選手の登録数増加 ・女子選手のプレー環境の充実
ファミリー拡大	・管内どこでもサッカーができる環境の整備 ・保護者や地域に愛され、応援される取り組みの充実

【プラン実現のための仮説】

指導者養成

- ・エリアトレセンの活性化
- ・リフレッシュ研修会に参加
- ・3種指導者研修会の実施

指導者交流

- ・中体連一クラブの共存共栄
- ・4種、女子との情報共有
- ・一貫指導体制の充実

少子化の中で、サッカーの
土台をより強くする

地域との連携

- ・外部コーチ等との協力体制強化
- ・少人数でもプレー機会の確保
- ・合同チームでの試合環境の充実

保護者との連携

- ・リスペクトの啓発
- ・暴力根絶の啓発
- ・HPやFBを活かした情報提供

重点課題	現状	今後の取り組み
リーグ文化	リーグ文化定着。土日連戦解消達成。 道東カブス、道カブスへの参入。	・全エリアにB級コーチを配置 ・トレセンや研修会に指導者が集い研鑽を積む→リーグのさらなる向上へ
女子選手	女子委員会との連携強化。トレセン活動へのサポートが課題	・女子の日常的練習、試合環境の創出 ・女子トレセンへスタッフ2名派遣
ファミリー拡大	地区協会HPならびにFacebookページにこまめに大会情報配信。リスペクト事例の発信が不足	大会情報発信の継続 各チームでリスペクトの取組推進 リスペクト事例の重点的発信

2020年度 オホーツク地区サッカー協会第4種委員会 事業計画

【大会事業】

1. **U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2020
第15回 TSUBOTAKE杯 オホーツク地区U-12サッカーリーグ**
日程 5月～9月（日曜日開催）
会場 オホーツク地区内サッカーグラウンド
◎成績上位3チームは、道東ブロック大会へ進出
■道東ブロック予選（根室地区） 9月26日
■北海道予選（北空知地区） 10月10日～12日
■全国大会（鹿児島県） 12月24日～27日
2. **U-10サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2020**
日程 5月～9月（日曜日開催）
会場 オホーツク地区内サッカーグラウンド
◎U-12リーグと同一のリーグ編成
3. **2020ロバパンCUP
第52回全道(U-12)サッカー少年団大会 オホーツク地区予選大会 兼
第6回トヨタカロラ北見U-12サッカー大会**
日程 6月27日（土）～6月28日（日）
会場 えんがる球技場
◎成績上位2チームは、全道大会へ進出
■全道大会（十勝地区） 7月23日～26日
4. **第16回オホーツク二建会旗 兼
第17回全道少年U-10サッカー大会北北海道大会 オホーツク地区予選大会**
日程 7月4日（土）～7月5日（日）
会場 網走スポーツ・トレーニングフィールド
◎成績上位3チームは、北北海道大会へ進出
◎U-8サッカー教室を並行開催
■北北海道大会（十勝地区） 8月8日～10日
5. **トラック協会杯
第32回全道少年団(U-11)サッカー大会 オホーツク地区予選大会**
日程 8月22日（土）～8月23日（日）
会場 北見モイワスポーツワールド
◎成績上位1チームは、全道大会へ進出
■全道大会（札幌地区） 9月19日～21日
6. **2021年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼
第18回JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道 オホーツク地区予選大会**
日程 10月3日（土）～10月4日（日）
会場 えんがる球技場
◎成績上位1チームは、北海道大会へ進出（開催日、開催地区未定）

7. 第4回オホーツクU-12サッカーフェスティバル

日程 10月10日(土)～10月11日(日)

会場 えんがる球技場

8. 第39回オホーツク管内サッカースポーツ少年団大会 兼

全道フットサル選手権大会2021 U-12の部 オホーツク地区予選大会

日程 12月5日(土)～6日(日)

会場 紋別市スポーツセンター

◎成績上位1チームは、全道大会へ進出

■全道大会(札幌地区)

2021年 3月6日～7日

9. 第31回全日本U-12フットサル選手権大会

北海道代表決定戦 道東ブロック予選 オホーツク地区予選大会

日程 2021年1月16日(土)～1月17日(日)

会場 網走総合体育館

◎成績上位2チームは、道東ブロック大会へ進出

■道東ブロック予選(十勝地区)

2021年 3月20日

■北海道予選、全国大会(開催日、開催地区未定)

10. 第4回オホーツクU-12フットサルフェスティバル

日程 2021年1月23日(土)～1月24日(日)

会場 留辺蘂町体育館・訓子府スポーツセンター

【普及事業】

1. キッズサッカーフェスティバル

日程 2020年 5月～9月(各エリアリーグ戦の中で実施)

会場 オホーツク地区内サッカーグラウンド

2020／令和2年度 OKFA4種委員会 組織

2020. 2. 24現在

オホーツク地区サッカー協会 常任理事会

- ・各クラブから1名ずつ4種委員を選出する。
- ・4種委員会の各部署務は、担当する4種委員（下記参照）を中心に運営していく。
- ・O印の役職（4種役員、強化トレーサ担当）は、4種委員の枠外として選任する。

会計監査 清原 尚弘(たきのうえ)

◆役員

資格	役職	担当者	所属	業務
4種役員	○委員長	横井和美	イーグルス	4種委員会の統括、外部との連絡・調整（地区協会役員・他専門委員会／HKEA・他地区の4種委員会／協賛社）
4種役員	○副委員長	野上祐二	斜里	委員長の補佐、斜網エリア事業の統括
4種役員	○副委員長	吉川徹	オニオン	委員長の補佐、北見エリア事業の統括
4種役員	○副委員長	内野 毅	たきのうえ	委員長の補佐、遠牧エリア事業の統括
4種役員	○事務局長	米谷研一郎	-	4種委員会事務の統括、4種事業部業務の統轄、各部事業結果の集約
4種役員	○事務局次長	兼田真一	ミラゲロス	事務局長の補佐
4種役員	○審判部長	丸山英次	遠軽	4種審判部業務の統括、地区審判委員会との連絡調整、4種審判講習会の運営
4種役員	○技術部長	岡村英治	FOペーネ	4種技術部業務の統括、地区技術委員会との連絡調整、4種技術講習会（大会一日目・U-12）ーグ義務）の運営
4種役員	○会計	細川正彦	FOペーネ	4種会計業務の統括
4種役員	○会計	小柳裕樹	網走市	4種会計業務の統括

●事業部

エリア	担当業務	担当委員	所属	業務内容
斜網	リーグ戦	野上祐二	斜里	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … リーグ(1stリーグ)
	カッパ戦	大嶋浩二	FC網走	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … 二建会旗(呼人)
	カッパ戦	松橋憲英	網走市	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … 全日本U-12フットサル(網走)
	キッズ事業	寺島悠司・鈴木敏介	美幌・メーナ	キッズフェス準備・運営・結果報告・会計処理
北見	リーグ戦	吉川徹	オニオン	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … リーグ(1stリーグ)
	カッパ戦	小島弘子	リトル	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … トヨタカローラ北見U-12(モイロー)遠軽
	カッパ戦	千田久幸	イーグルス	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … トラック協会杯(モイワ)
	キッズ事業	北村浩一	アトラス	キッズフェス準備・運営・結果報告・会計処理
遠紋	リーグ戦	清原尚弘	たきのうえ	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … リーグ(1stリーグ)
	カッパ戦	田島慎二	トルコインズ	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … 全道フットサル(紋別)
	カッパ戦	松村圭吾	遠軽	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … チビリンピック(遠軽)
	キッズ事業	阿部真	サロア	キッズフェス準備・運営・結果報告・会計処理
地区	リーグ戦 *	米谷研郎	-	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … 2ndリーグ
	リーグ戦 *	兼田真一	ミラゲロス	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … 3rdリーグ
	カッパ戦 *	米谷研郎	-	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … サッカーフェス(遠軽)
	カッパ戦 *	兼田真一	ミラゲロス	大会準備・運営・結果報告・会計処理 … フットサルフェス(留辺蘂ほか)

●審判部

エリア	担当業務	担当委員	所属	業務内容
斜網	審判	谷口正樹	つべつ	エリア主管大会(リーグ戦・カッパ戦)の審判業務の統括
北見	審判	山口浩俊	常呂	エリア主管大会(リーグ戦・カッパ戦)の審判業務の統括
遠紋	審判	小野秀幸	紋別FC	エリア主管大会(リーグ戦・カッパ戦)の審判業務の統括

●技術部

エリア	担当業務	担当委員	所属	業務内容
斜網	エリアTC U-10	敷大輔	斜里	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
	エリアTC U-11・U-1	細川正彦	FCペーネ	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
北見	エリアTC U-11	田澤佑太	銀河	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
	エリアTC U-11・U-14	佐藤大輝	北見西	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
遠紋	エリアTC U-10	半田信一・兼田真一	紋別FC/ミウラ	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
	エリアTC U-11・U-1	大原範之	ルゴース	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
地区	強化TC U-10	内野毅	たきのうえ	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
	強化TC U-11	松村圭吾	遠軽	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動
	強化TC U-12	岡村英治	FCペーネ	トレセツ事業の運営、地区技術委員としての活動

技術部は地区技術委員を兼務する

技術部は地区技術委員を兼務する

エリア区分… 斜網7 斜里・ハネ・FC網走ニーナ・網走市・美幌・つべつ) / 北見7 (常呂・アトラス・オニオン・イカウル・リトル・北見西・銀河) / 遠彼7 (サロワ・遠軽・ミナグロ・紋別・FC・トマルインズ・興部・たきのうえ)

OKFA第4種委員会 「16→25プラン」(仮説 と 検証の指標)

● リーグ文化の醸成 <対象>

<仮説> 「4種登録クラブが」		<活動> 「よいゲーム環境のリーグ戦を経験すること」		「①リーグ戦の充実、 ②競技力の向上をさせることができる」	
<指標>	「4種登録クラブ数」	「リーグ戦の開催方法など」		「①U-12リーグ参加チーム数、 ②全日少・道東大会出場チームの平均勝ち点」	
2016	25	・種数チ-AIYDの要件緩和		23	0.5
2017	25	↓		21	0.5
2018	21	↓		22	3.5
2019	21	・ 後期U-12 3部制による拮抗したリーグ-A環境の創出		22	1.5 ※
2020					
2021					
2022					
2023					
2024					
2025					

※2019より大会方式変更 (3f-AU-12×3 → 4f-A1-12×3)

● 女子選手倍増計画 <対象>

<仮説> 「4種事業に参加する女子選手が」		<活動> 「女子選手が参加しやすい環境をつくること」		「4種登録をしてサッカーを楽しむようになる。」	
<指標>	「4種事業に参加する女子選手数の総計」	「女子選手が参加しやすい事業展開・環境整備」		「4種登録の女子選手数」	
2016	(集計せず)	・女子U-12チームのU-10リーグ参加		61	
2017	(集計せず)	・ホッケー/フットサルへの女子U-13選手参加		58	
2018	280	・女子普及事業立ち上げ		65	
2019	288	・U-12女子フットボール遠征 (技術委員会所管事業)		71	
2020					
2021					
2022					
2023					
2024					
2025					

● みんなつながっている<対象>

<仮説> 「4種事業の参加選手が」		<活動> 「充実した4種事業でサッカー経験をすることで」		「子ども、大人も、より多くの人が4種事業に参加するようになる。」	
<指標>	「4種事業に参加する選手数の総計」	「フットサルの視点に立った事業展開/推進」		「①4種登録の選手数」	「②各クラブのスタッフ数の総計」
2016	(集計せず)	・フットサルの開催 (網走/北見)・FBでの情報発信		612	116
2017	(集計せず)	・フットサルのU17開催 ・ホッケー/フットサル開始		552	117
2018	3528	↓		560	125
2019	3620	↓		562	127
2020					
2021					
2022					
2023					
2024					
2025					

2020 年度 オホーツク地区サッカー協会 女子委員会 事業計画

1. 事業計画

7 月 12 日 (日)	JFA レディース/ガールズサッカーフェスティバル	北見モイワスポーツワールド
11 月～3 月の間	第 4 回 オホーツクレディース/ガールズ フットサルフェスティバル	場所未定 (北見での開催予定)

OKFA 16→25 プラン 女子選手倍増計画

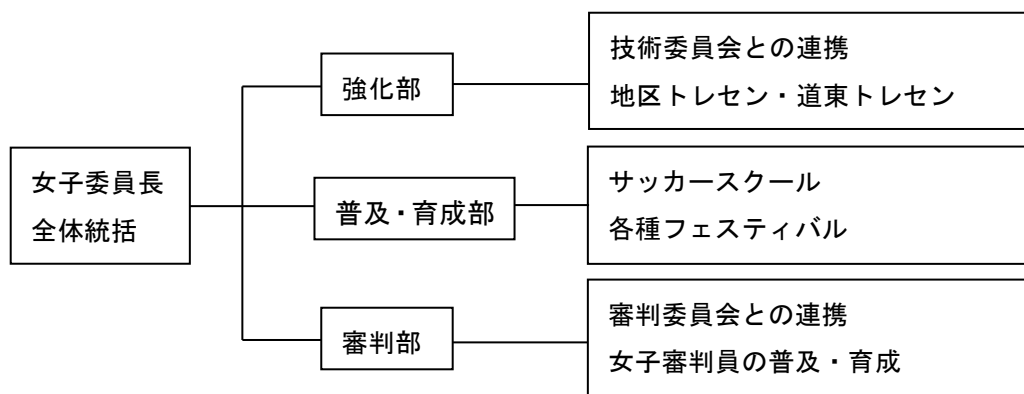
- オホーツクエリアガールズサッカースクール 小学校 3 年生～4 年生対象
月 1 回 オホーツク地区トレセンと同時開催
低学年から女子選手でトレーニングを行い小学 5 年生からのトレセンへの
スムーズな移行を目的とする。
- オホーツク地区女子フットサルフェスティバル
一般・少女・ノービスの部にて開催予定
女子選手の試合経験の確保と普及を目的とするフェスティバルの開催

2 全道大会

○一般 U-15 U-18

4 月 11 日 (土) ～12 日 (日)	第 2 回 U-13 (中学生) 8 人制サッカーフェスティバル	札幌
9 月 5 日 (土) ～6 日 (日)	第 28 回北海道女子ユース (U-15) サッカー選手権大会 兼 第 25 回全日本女子ユース (U-15) サッカー選手権大会北海道予選 9 月 12 日 (土)～13 日 (日) 準決勝・決勝は札幌開催	釧路
8 月 29 日 (土)～ 30 日 (日)	道新カップ第 1 回北海道女子 8 人制サッカー大会 (新規大会)	札幌
9 月 26 日 (土) ～27 日 (日)	第 23 回北海道女子ユース (U-18) サッカー選手権大会 兼 JOC ジュニアオリンピックカップ 第 24 回全日本女子ユース (U-18) サッカー選手権大会北海道予選 10 月 3 日 (土)～4 日 (日) 準決勝・決勝は札幌開催	小樽
11 月 28 日 (土) ～29 日 (日)	第 12 回全道女子ユース (U-15) フットサル大会兼 第 11 回全日本女子ユース (U-15) フットサル大会北海道予選	千歳
2021 年 2 月 20 日 (土) ～21 日 (日)	全道フットサル選手権大会 2021 女子の部	十勝

3 組織図



お知らせとして

○4 種女子大会

8 月 8 日(土) ～9 日(日)	第 8 回熊谷・高瀬杯ガールズ (U-12) サッカー大会	札幌
12 月 19 日(土) ～20 日(日)	第 31 回全道少女フットサル大会	小樽

○オホーツク地区女子チーム (2020 年 3 月末現在)

レファ FC	FC 網走 menina	il sole FC
--------	--------------	------------

OKFA 女子委員会 16→25プラン

<女子選手倍増計画>

●オホーツクエリアガールズスクールの開催

小学3年生～4年生(登録・未登録)を対象として オホーツク地区女子トレセンと同時開催にすることで5年生からのトレセンへの以降をスムーズにする目的としていましたが、2017年度(現6年生)以降 参加人数の減少が見られます。女子トレセン(U12・U15・U18)の同時開催なのでスタッフの不足もありガールズスクールが開催できなかったのにも原因があります。

今後は 女子委員会スタッフの細分化も図り、4種委員会とも連携して「ガールズスクール」を周知してもらい、登録・未登録少女にも気軽に参加できるスクールにしていく必要があります

●オホーツク地区女子フットサルフェスティバル

2017年度から開始した事業です。

一般・少女・ノービスに部門を分け、同じ会場で試合をすることで選手間の交流や試合経験の確保を図ることを目的としています。

少女の部は、女子選手が所属している少年団の指導者がチームを作って参加して頂き、釧路、根室地区からの参加もありチーム数が増えてきました。

一般の部は 旭川のチームも参加して頂き、地元にながら管外チームとの試合経験をすることができました。

ノービスの部は 少年団のお母さんたちがチームを作って参加してくれています。人数が少ないチームは選手の貸し借りなどして気軽に参加して頂けるようにしています。

開催日によって参加チーム数の増減(他地区からの参加がないため)があるので、今後は 開催日の検討も必要になっていきます。

●「なでしこ広場」の開催

2019年度から始めた事業で 各エリアを巡回することで女子サッカーの普及を行いました。各地域協会の皆様のご協力で 当日に人数を集めて頂き、4月～9月までの間で5回開催することができました。女子委員会だけではなく、各地域協会に協力をお願いして開催していく事業だと思いましたが、2020年度は 女子委員会スタッフの確保が難しく開催のめどが立っていません。

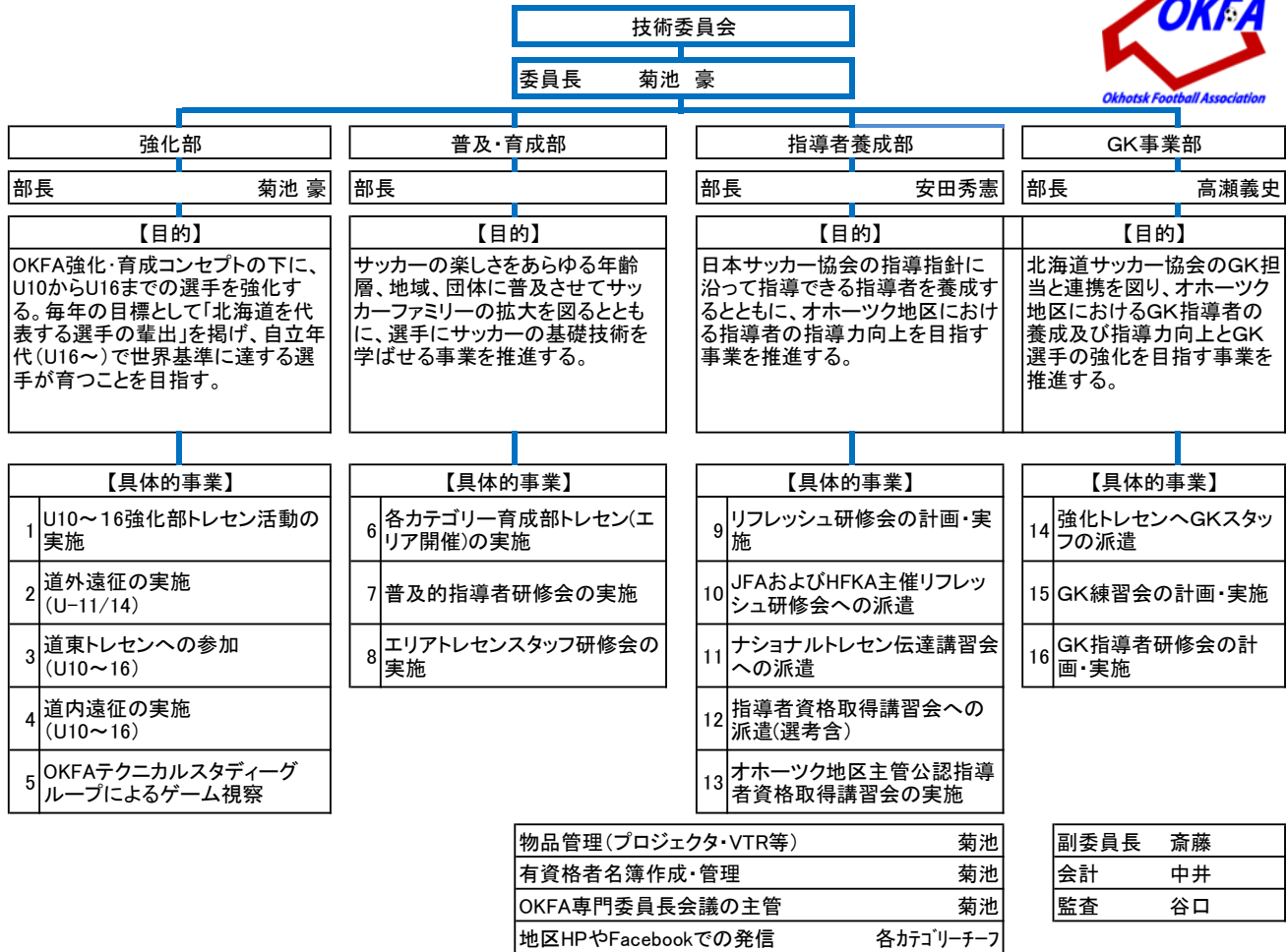
●その他報告

オホーツク管内の女子チーム(チーム登録)が3チーム、4種に1チームになりました。

女子選手は、小学生から中学生、中学生から高校生、高校生から社会人になるときにサッカーをやめてしまう傾向にあります。サッカーを始める少女・女子選手は増えてもいますが、やめてしまう選手も同じくらいいます。

女子選手を増やすことも大切ですが、今後は長くサッカー選手を続けていける環境づくりも必要になっていきます。

2020年度 オホーツク地区サッカー協会 技術委員会事業計画



【令和2年度 重点目標】

16 →25プラン OKFAドリームプロジェクトで掲げた目標と手段の積極的推進

(1) トレセンとチームの両方で強化を図り、各カテゴリーでの道トレ選手輩出

- OKFA強化育成コンセプトをトレセンスタッフだけでなく、チーム指導者とも共有し、指導者を中心として選手の強化を図る。
- 道東および道内外遠征でマッチを数多くこなし、地区トレセンの強化を図る。
- U-10から個人戦術にはたらしかけ、ゲームの中でスキルを発揮できるように取り組む。

(2) 普及・育成活動から強化へつながる事業を推進する

- トレセンダーの定着とスタッフの増員を進め、U10～U16のユース年代のよりきめ細やかな指導が出来る環境を整える。
- GK事業部による普及・育成事業を進めながら、GK選手のプレーの質及びGK指導者の質を向上させる。
- エリアトレセンU11の取組の充実を図る。

(3) 指導技術向上に向けての取り組み

- 10pのリフレッシュ研修会を各チーム指導者、40pをトレセンスタッフの指導技術向上の場として積極的に働きかけ、より多くの指導者の質をいっそう向上させる。
- 2020年度完全実施するJFAトレセン認定制度に向けて、公認C級養成講習会の開催及び公認A・B級取得のトライアルへの参加を呼びかけ、各チームへ公認C級取得を働き掛ける。
- 各種年代及び女子の指導者から、北海道・道東トレセンへ参加を呼びかける。

(4) ユース育成の組織的推進

- テクニカルスタディーグループ(TSG)を継続実施し、をオホーツク地区ユース年代のゲームにおける選手の現状と課題を把握し、分析結果をオホーツク地区全チームに伝達する。
- OKFAホームページやFacebookにおいて各種のトレセン活動、テクニカルレポートを公開し情報を共有する。
- 各カテゴリー委員会との情報共有を進め、人材交流をしながら育成の全体像を明らかにしていく。(カレンダー調整・予算の有効活用など)

OKFAユース強化育成コンセプト

オホーツク地区サッカー協会 技術委員会2020



1. ユース育成年代の定義

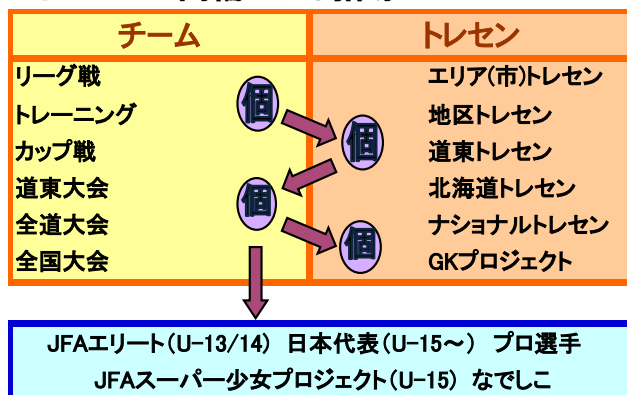
年代	U-10	U-11	U-12	U-13	U-14	U-15	U-16
	ゴールデンエイジ			ポストゴールデンエイジ			クライマックス
ゲーム環境	誰もがフットボーラー(8人制)			ポジションの適性を考える(11人制)			大人のサッカーへ
指導の主眼	個に焦点を当てた育成			チームコンセプトのもとに個を育成			

育成年代を10歳から16歳までと、明確に定義します。つまり小学4年生からは、育成の指導方針に沿って指導していきます。

それぞれの発達段階にあわせて、個に焦点を当てた育成から、徐々にチーム(組織)のコンセプトの下に個が生かされるように指導の主眼を変えていきます。そのために、ゲーム環境をU-8からU-13までは、8人制を主として行い、U-13から14にかけて本格的に11人制に移行していきます。

ただし、このときに注意しなければいけないのは、U-12までは”1対1”だけでいいのかということそうではありません。個の育成を主眼としながらも、他のプレーヤーなど自分を取り巻く環境と関わりながら、フットボーラーとしての技術・戦術・体力を磨いていくということです。

2. チームとトレセンの両輪による指導



日常のトレーニング環境はチームが主体です。チームにおいて、サッカーに関するすべての要素を発達段階を考慮して指導しています。また、当地区は4種年代でも早い段階からリーグ戦を導入し、8人制にも取り組んできました。チームを通して個を育成する環境が徐々に整いつつあります。

トレセンでは、優秀な選手や意欲の高い選手のトレーニング環境を、より高度なものにできるよう取り組んできました。

また、これまで世界基準を目指して、地区→道東→北海道→JFAへとつながるステップとしての役割を担い、子どもたちに夢を実現する場を提供してきたつもりです。

チーム・トレセンそれぞれルートは違いますが、個の育成・強化を目指すことに変わりはありません。指導者は、どのような立場であっても「プレーヤーズ・ファースト」の視点に立って、子どもたちの夢の実現の手助けをしていくべきであろうと考えます。

3. オホーツク地区の可能性

子どもの成長は時間がかかります。「この子はこれができない」「この子はだめだ」と、決め付けてしまうのは、選手の可能性を奪うことにつながっていくかもしれません。

当地区出身の選手として、奈良竜樹・高瀬愛実といったプロ選手や全国の強豪大学・高校で活躍している選手がいます。これらの選手は、高い技術や身体能力を持っていたと思いますが、どれほどの指導者が彼らがここまで活躍をするを予測していたのでしょうか。広いオホーツク地区を考えると、これほどの選手もしくはこれ以上の選手がこれからも育っていく可能性は十分あると思います。

選手の可能性が開花するのは育成年代を過ぎてからということもあります。指導者が彼らのトレーニング環境・ゲーム環境を整えてあげることで、選手が自立したときに、育成年代で身につけた技術・戦術・体力・精神を駆使して彼らは活躍していくことでしょう。

数年前までは、オホーツク地区から優秀な選手を輩出しつつも、地区選抜全体のレベルは常に低位に位置していました。順位だけでなく、ゲーム内容・選手の技術レベルともに、北海道の中では低いといわざるを得ない状況でした。

しかしながら、近年のさまざまな取り組み(指導者養成・リーグ戦改革・選抜チームの遠征回数増・各種年代トレセン指導方針の共有など)により、地区選抜に選ばれる選手の質が徐々に上がってきました。右肩上がりの進歩とまでは行かないまでも、さまざまな人のさまざまな努力が形になりつつあるのは事実です。

4. オホーツク地区の課題～可能性を伸ばす～

課題という欠点を改善するととらえがちですが、オホーツク地区が持っている可能性をどこまでも伸ばすために、どんなことができるかという視点に立って考えてみたいと思います。

	アドバンテージ	ディスアドバンテージ
トレセン選手	”個”だけを見ると秀逸 選手の輩出	組織の中で”個”を生かせない 選手の流出
選手数	指導者一人あたりの選手数が少ない 広域だから、多くの選手の中から選抜	人数が少なくてチームとして成り立たない 近隣にチームがない
指導者	数多くの指導者研修会を実施 指導者研修会に参加し、質の向上	みんな忙しい 指導者の流出

U-10エリアトレセンが定着し、徐々にこの年代に関わる指導者が増え、指導の質も向上してきています。C級ライセンス取得者も増えてきたり、一人ひとりの意欲の向上も見られます。よりいっそう指導者どうしのネットワークの構築・コンセプトと情報共有を目指していきます。普段はそれぞれの生活圏でできることを考え、実行していきながら、組織的に取り組んでいくことが大切だと考えます。
ただ、左の図のように、すぐには解決できない問題も多く抱えています。学校や地域社会をも巻き込んだ改革に着手しなければなりません。

近年、オホーツク地区トレセンから巣立っていった子どもたちが、社会人となって戻ってきています。選手として活動している場合が多いようですが、コーチとして活動しようという意欲のある方もいます。高いレベルを経験してきた貴重な人材を、現場で指導者として育てていくのも我々の仕事であると考えています。各地域協会・クラブ関係者の方々は、情報網を張り巡らせ、優秀な若い指導者に活躍の場を与えていただきたいと思います。

さまざまな成功例を見ると、情熱と行動力・人づくりと仲間づくりで、夢のようなことでも実現が可能だということがわかります。オホーツク地区としても、サッカーに関わる仲間がユース育成のコンセプトを共有・共感して、あきらめずに努力していけば、目標の達成が可能だと思います。「OKFAドリームプロジェクト2017」をみんなで達成しましょう。

OKFAドリームプロジェクト2020

U-16年代以降で日本代表となる選手を複数輩出

U-11年代以降で毎年北海道トレセンクラスの選手の輩出

そのために

4～2種 全チームにC級以上の指導者の登録(常に目指す)

JFA公認サッカー指導者 A・B級コーチ養成講習会に複数の受講生を派遣

毎年、全チームの指導者がリフレッシュ研修会に参加(地区トレセンスタッフは40P・エリアスタッフは10P以上)

エリアトレセンU11/12、U13/14の活動の充実

女子選手の普及・強化のバックアップ体制の整備(OKFA16→25プランより)

各種年代および女子の指導者から、北海道トレセン・道東トレセンの中心となるコーチの複数輩出

2020年度 オホーツク地区サッカー協会 審判委員会 事業計画

強化部会

地区S強化指定審判員研修

4月～10月

育成部会

ユース（中学生）S4新規取得講習会

4月下旬～5月上旬斜網、北見、遠紋各会場

ユース（高校生）S4新規取得講習会

4月中旬、5月下旬

S3上申・S4新規取得講習会 社会人連盟杯

5月10日（日）予定

2種FAリーグ

7・8・9月のいずれかで予定

S4新規取得講習会

12月6日（日）

指導者部会

S2・S3・S4研修会 3種 中体連

6月27日（土）

2種 選手権

8月30日（日）

S3インストラクター更新講習会

1月31日（日）

S2更新講習会

2月14日（日）、3月7日（日）

S3・S4更新講習会

2月14日（日）、21日（日）〈網走〉、28日（日）、

3月7日（日）、14日（日）〈北見〉、21日（日）

フットサル部会

地区F強化指定審判員研修

4月～2月

F3上申・F4新規取得講習会 オータムフットサルにて

11月8日（日）予定

F2・F3・F4研修会

U-15フットサル大会にて

11月7日（土）

F3インストラクター更新講習会

11月 予定

F2更新講習会 各種大会にて、及び、2月21日（日）〈網走〉、3月14日（日）〈北見〉

F3・F4更新講習会 各種大会にて、及び、2月21日（日）〈網走〉、3月14日（日）

〈北見〉

女子部会

女性のみを対象としたS3上申・S4新規取得講習会（中学生から一般まで幅広く）

女子審判研修会

3種 中体連

6月27日（土）

2種 選手権

8月30日（日）

研究開発部会

レポート配信、網走地区協会HPへ掲載

4月～3月 網走地区協会HPにて随時掲載

総務部

審判委員会役員会

4月5日（日）、2月21日（日）〈網走〉

審判委員会部長会・中間決算報告

10月25日（日）

審判委員会総会

3月7日（日）※S2更新講習会終了後

2020年度 オホーツク地区サッカー協会審判委員会組織図

【基本方針】

レフエリソグの質を高め、サッカーの質を高める

（１）審判員の質の向上

インストラクターが各種大会に行き、審判員の指導・育成を行う。また、他のカテゴリーへの審判活動に参加することにより交流を図るだけでなく、審判技術の幅を持つようにする。ゲーム後のチャットセッションを行い、判定基準の統一を図る。

（２）若手審判員・ユース審判員の発掘・育成・強化

各カテゴリーより推薦を受けた若手審判員の発掘・育成・強化を行い、１級候補の審判員を育てる。また、ユース審判員を育成し、早い段階から審判技術を身につけさせる。

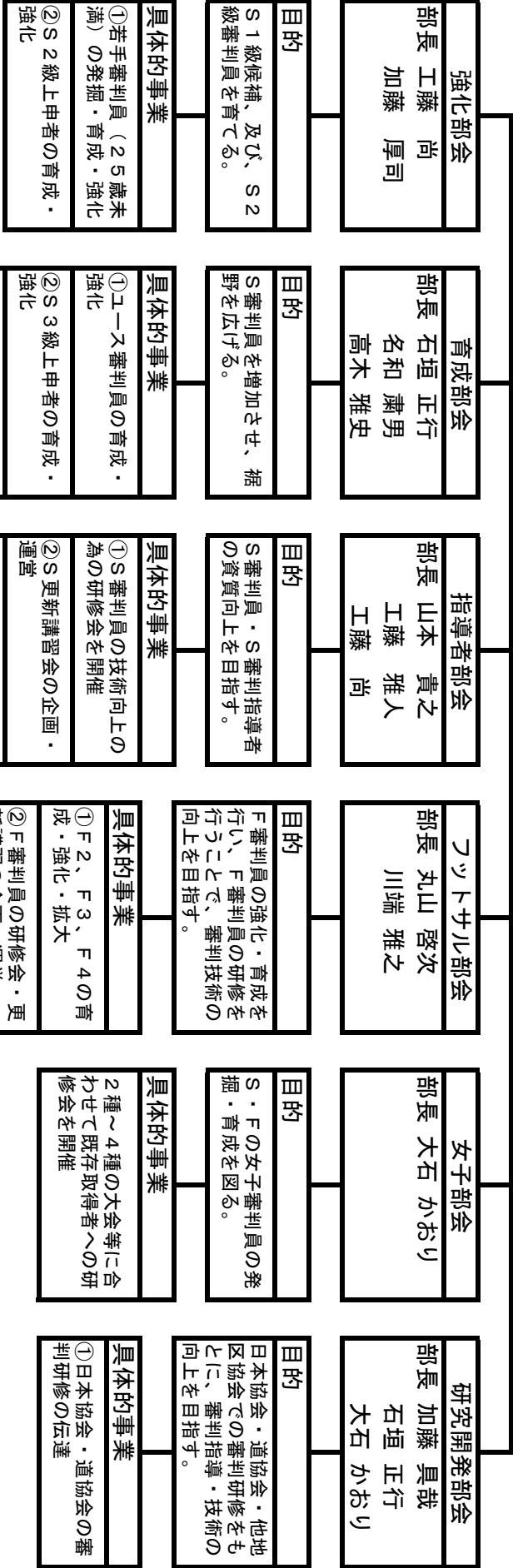
委員長	加藤 厚司
副委員長	工藤 雅人

総務部	
事務局	岡村 英治
会計	名和 庸男

監査	千田 久幸
監査	川端 雅之



各種大会審判割り振り(カテゴリー—代表)	
1種	石垣 正行
2種	工藤 尚
3種	山本 貴之
4種	丸山 啓次
大学	加藤 厚司



道S強化指定審判員	
該当者なし	
道F強化指定審判員	
該当者なし	

地区S強化指定審判員	
田宮 尚明	
今野 剛（U-18） 鈴木 辰汰（U-15）	
地区F強化指定審判員	
高瀬 義史 山本 悠司	

16→25プラン 審判委員会

項目	プラン	期待する効果内容	現在の状況	今後の取り組み
審判資格新規取得促進 (男子)	中学生、高校生にアンケートを配布し、アンケートの結果に基づき審判活動へ導いていく	早い段階で審判活動に興味をもってもらい ユース年代のうちに3級・2級をめざしてもらう	少しずつではあるがユース審判員の人数や活動人数も増えている。我々審判委員会は、審判に興味のある人がいても気が付かず終わってしまうことが多い。	顧問の先生よりサッカー部員全員にアナウンスしてもらいたい興味のある審判員やこれから資格を取得してみたいという人が増えることを目的とする
審判資格新規取得促進 (女子)	女子だけでの審判資格4級新規取得講習会と研修会も兼ねて開催する。	⇒男子と一緒にでの講習会、研修会参加では体力の差などがあり参加すること自体に閉塞感を感じてしまっていると考ええる。このことから、女子だけでの開催をすれば、気兼ねなく参加出来、また、それ(体力)に見合った講習会、研修会の場を提供する(協力してもらう)ことにより女子審判員の増加へつながると考える。	2019年度は人数が少なく男子と一緒に参加する方法しかなかった。	個別での審判指導も視野に入れながら、各大会、練習試合等を通じて少しずつではあるが女子審判員を増やしていきたい。
審判資格更新促進	資格更新(更新講習会の受講)を催促するメールを全審判員へ配信する。	⇒従来の地区HPでの更新講習会の案内に加えて、メール配信をすることにより更新講習会受講への誘導、促進が審判員一人一人へ更に直接的なものとなり、より効果が期待出来ると考える。(JFA KickOffの管理者用のメール配信機能を活用する。)	地区HPでの更新講習会の開催案内に加え、メール一括配信での案内も実行出来ている。これにより、更新手続きの忘れ防止、誘導、促進が図られている。	引き続き対応していくことで審判員一人一人に更新手続きを定着させ、資格更新率を引き上げていく。
その他	各カテゴリーから審判の新規取得講習会、研修会等の開催要望があれば、事業計画以外でも実施することを前提として検討していく。(但し、需要人数<参加人数>は実施有無を判断する上での判断材料とはしない。)	⇒一人でも多くの審判員増加へとつながられる。	2019年度においては数回の開催要望があり、全てにおいて開催し、実施、対応できた。その結果、少しずつではあるが新規取得者の審判員が増えている。	引き続き柔軟に対応し、出来る限り要望に応えることで着実に審判員の増加へと結び付け、効果を出していく。

2020年度 キッズ委員会事業計画

本年度事業方針

6 地域協会との連携を強化し、キッズリーダー講習会等による指導者育成とサッカー室や巡回指導等の普及事業実施によるファミリー拡大に努める。

1. JFA事業

- ① キッズフェスティバル及びフットサル委員会・女子委員会 JFA 事業協賛によるフェスティバルの開催

2. キッズ委員会の組織強化

- ① 地域協会との連携強化と助成事業

斜里・網走・美幌・北見・遠軽・紋別各地域協会と連携し、普及事業を実施し、地域協会の実施する普及事業費への事業費助成を行う。

- ② 地域協会への普及事業への指導者派遣

各地域が実施する巡回指導やサッカー教室、普及イベントへの指導者派遣

- ③ 4 種委員会との連携

4 種普及事業 キッズサッカーフェス共催

3. サッカー教室及び巡回指導の開催

- ① サッカー教室の開催

親子サッカー教室・キッズサッカー教室の定期的な開催

- ② 幼稚園・保育園への巡回指導の実施

巡回実施施設数の拡充

4. 指導者普及事業

- ① キッズリーダー講習会の実施

キッズリーダー講習会の実施による指導者養成の実施

- ② キッズテクニカルコーチ養成

キッズリーダー取得者の講習会

OKFA 2016－25プラン

オホーツク地区サッカー協会キッズ委員会

現状と課題

1. 指導者人材不足
2. 社会現象による競技人口の減少
3. U9 の活動環境の不足

重点課題

- 1、組織の強化
- 2、指導者育成 ⇒ キッズリーダー講習会実施によるリーダー養成
- 3、巡回指導体制の強化 ⇒ トヨタ事業を含む、専門学校との連携

具体的活動目標

- | | |
|-------|---|
| 2020年 | 6地域協会との連携した組織づくり
FB等による情報発信 |
| 2020年 | 6地域協会全域でのキッズリーダー育成
保育士へのキッズリーダー講習会の実施
6地区協会及び4種委員会との連携による普及事業
グラスルーツフェスの実施 |
| 2021年 | 6地域全域での幼稚園巡回指導実施施設の拡充
キッズスクールの設立（4種世代へのサッカーファミリー拡大） |
| 2022年 | 各地域での幼稚園合同サッカーフェスの実施 |
| 2025年 | 全域でキッズリーダー 100名養成
全域での幼稚園巡回指導の実施 |

令和2年度 フットサル委員会 事業計画

1. 事業名 ファミリーフットサルフェスティバル2020 北海道 in オホーツク
開催日 2021年 2月 21日(日) 9:00 ~ 17:00
会 場 北海道立北見体育センター

2. 事業名 令和2年度 オホーツク社会人フットサルリーグ
開催期間 2020年5月 ~ 2021年2月
会 場 北見市立体育館 or 訓子府町スポーツセンター

3. 事業名 オータムフットサル大会
開催日 2020年11月8日(日)
会 場 道立北見体育センター

4. 事業名 クリスマスカップ 兼 第15回 TSUBOTAKE CUP
開催日 2020年12月13日(日)
会 場 北見市立体育館 or 訓子府町スポーツセンター

5. 事業名 新春フットサル大会
開催日 2021年1月10日(日)
会 場 北見市立体育館 or 訓子府町スポーツセンター

6. 事業名 ウインターフットサル大会
開催日 2021年2月28日(日)
会 場 北海道立北見体育センター

OKFA 16→25 プラン

フットサル委員会

フットサルファミリー拡大に向けて

【現状】

日本サッカー協会フットサル登録状況

年 度	チーム数	増減	選手数	増減	2025年目標
2017 (H29)	8		117		270 名 (2016年の倍増)
2018 (H30)	8	0	112	-5	
2019 (R1)	4	-4	68	-44	

オホーツク地区のフットサル登録チームは、主に全日本フットサル選手権及び全道フットサル選手権に参加するための登録であり、各年度の参加チーム数によって増減する。

現状から、まずはフットサルファミリーの拡大を目指し、継続して普及事業をおこない日本サッカー協会フットサル登録が必要となる、全日本フットサル選手権及び全道フットサル選手権への参加を目標とする チーム及び選手の増大につなげる。

【ファミリー拡大に向けての取り組み】

1. エンジョイプレーヤーの増大（一般、女子、シニア、2種）

オホーツク社会人サッカー連盟のエンジョイ大会における参加チームおよび参加者の増減

年 度	チーム数	増減	選手数	増減	男子	増減	女子	増減
2018 (H30)	23		252		231		23	
2019 (R1)	20	-3	253	1	226	-5	27	4

※開催時期により参加チーム数および参加人数に変動があるので、3大会のうち最大参加チーム数および最大参加人数を記載

- ・ミックス部門を設置して8年が経ちました。毎大会 3～5チームの参加があり2019年は1大会の女子選手数が27名。前年よりも4名増え成果が出ている。
- ・シニア部門は、現在は 3～5チームの参加である。今後は40歳以上の選手が増えてくると予想され、継続して開催する。

2. ファミリーフットサルフェスで、サッカー・フットサルをしたことのない方にも楽しさを感じてもらう。 ファミリー部門

年 度	チーム数	増減	選手数	増減
2018 (H30)	8		79	
2019 (R1)	4	-4	43	-36

毎年10チーム前後の参加があり、1チーム当り3試合(7分ハーフ)楽しんで頂いています。

参加チームの構成は、少年団の家族で構成されているチーム、社会人チームの家族で構成されているチーム、1家族単独のチームなど様々です。

【取り組み】

- ・フェスの競技方法で、試合には常に女子が1人出場することになっていますが、女子の年齢制限を引下げ参加しやすい環境を整えています。また、参加者には普段フットサルをしていない方もいますので、疲れてきた時には無理をしなくてもいいように、女子委員会のスタッフが交代して出場し対応しています。
- ・今後は、参加選手が申込時に5名揃わない場合でも、スタッフがサポートして加わり参加できるような体制を準備し、まずは、フェスに参加して頂いてサッカー・フットサルの楽しさを感じてもらい、そこから各大会への参加や試合観戦へと、つながるように継続して開催する。

2020年度 オホーツク地区サッカー協会 情報委員会 事業計画

1. 主な事業

① ホームページの更新

- ・ 各カテゴリーの担当者との連携を密にして、情報の素早い掲載に努める。

② フェイスブックの管理・運営

③ 各報道機関への大会結果送付

- ・ 北海道新聞、経済の伝書鳩に大会結果を掲載の依頼を行う。

2. 今年度の重点

① 情報の質の向上

- ・ 大会、トレセン活動においては結果だけでなく写真や報告文を掲載し、利用者に質の大会情報を伝える。

② リスペクトに関する啓発をホームページに掲載していく。

③ ホームページ、フェイスブックの利用者拡大の取り組み

- ・ 利用者拡大のために、今まで以上に幅広く情報が迅速に伝わるような体制作りを目指していく。

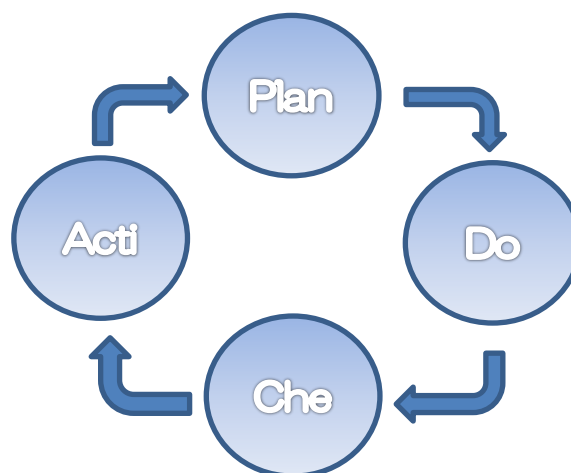
令和2年度 シニア委員会 事業計画

1. 第15回オホーツク地区シニアサッカーフェスティバルを5月に開催予定。
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。
開催地については、えんがる球技場（遠軽町）を予定。
2. 第6回オホーツク地区シニアサッカーリーグを開催。
令和元年度は、オホーツクシニアSC、北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA、
FCイーグルス.GF、遊蹴会、R e v i v a l S.Cの6チームが参加。
日程については網走地区社会人リーグ及び各種大会と重複しないよう、開催場所につ
いてもリーグ運営部会にて決定する。
3. 第4回オホーツク地区シニアサッカーオータムフェスティバルを10月に開催予定。
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。
開催地については、えんがる球技場（遠軽町）を予定。
4. 第13回オホーツク地区シニアフットサルフェスティバルを11～2月に開催予定。
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。
開催地については遠軽町を予定。
5. 北海道シニアサッカー連盟が主催する各種大会・フェスティバルへの参加。
道東地区の各シニアチームと連携をとり、地域大会へ参加する。
網走地区社会人連盟が主催するフットサル大会への参加。

OKFA〔シニア委員会〕 16→25プラン

16→20版

Plan（計画）	1. オホーツク地区シニアサッカーリーグの充実 2016年度のシニアリーグは、チーム数5、登録選手数約110名で構成されている。チーム数増の予定は無いが、登録選手数を150名まで増やす。 2. 道東ブロックリーグ参入への可能性 道央、道南、道北と各地域でリーグ戦を行っている。道東は十勝に釧路が参加してリーグを構成、根室・網走が参入すると道東リーグが開催できる。
Do（実行）	1. オホーツク地区シニアサッカーリーグの充実 リーグ参加各チームへ、選手数の増加を要請する。 参加しやすい日程、開催地をシニア委員会で検討する。 2. 道東ブロックリーグ参入への可能性 十勝、釧路、根室各地区との交流において、道東ブロックリーグの可能性を探る。また、網走地区から参入できるチームの有無の確認を行う。
Check（評価）	1. オホーツク地区シニアサッカーリーグの充実 2025年度のシニアリーグ選手登録数で確認する。 リーグ開催中も登録選手の追加は認めているので、リーグ終了後に集計を行う。 ※ 2019年度の登録選手数は約170名で50%増 チーム数は7チームで2増。 2. 道東ブロックリーグ参入への可能性 北海道シニアサッカー連盟内での、各地区の意向確認。 ※ 根室地区も当面、道東リーグへの参入予定はない。 オホーツク地区シニアリーグ参加チームへの聞き取り調査。 ※ オホーツク地区からも道東リーグへの参加希望は無し。
Action（改善）	2025年度末に評価を行い、次回に向けプランの修正を行う。



2020年度 北見サッカー協会事業計画

○ 第1種

3月 第1回北見市杯社会人エイトサッカー大会
第10回北見ふっとさる祭り

○ 第2種

5月～11月 市内高校リーグ
※ 2020OKFAリーグを兼ねて実施(共催)

○ 第3種・技術

2月～3月 北見エリアウィンターリーグU-14

○ 第4種

事業方針

既存大会の実施に加え、キッズ指導者拡大とサッカー教室及び市内幼稚園・保育園への巡回指導等による、サッカーファミリーの拡大を図ると共に3種委員会との連携による一環指導協力連携を図る。

9月 山本杯(U-12)・鴨下杯(U-10)
10月 北見市教委委託事業 Jr.アスリートアカデミー
10月 明治安田生命杯U-9
2月 塩別つるつる温泉杯U-9
2月 指導者研修会
3月 キッズ普及事業の実施

○ 女子

地区協会との連携
女子・女性のサッカー教室開催
フットサルフェス開催

○ 審判

地区協会との連携
審判講習会実施

○ 協会事業

北見協会フットサルフェス
※カテゴリー間の交流を図る
9月 大会参加チームによるモイワスポーツワールドの清掃活動の実施
11月 ビールパーティーの開催

16ー25 プラン 北見サッカー協会

	計画	実行	評価	改善
サッカー施設及び環境整備充実	フットサル施設及び人工芝グラウンド等施設の設立と環境整備	フットサル施設の環境整備として要望書の提出 瑞野グラウンドにサッカー用具（デント、ライオンカー、フライング等）の常備、ナイター設備の検討の要望。 ボール等の設備ができるトレーニングセンターの新たな開放の要望	夏合宿期間のグラウンド使用要請。（徐々に改善） 当協会ができる限りの設備投資を行い、利用しやすい環境にするため、北見市からも許可を得ている。	財政難のなかで、今まで以上のサッカー施設充実を図るのは難しいが、当協会の所属チームの意見を取り入れ、環境を整備していくのと合わせて、北見市には引き続き、サッカー競技環境の整備を検討していただくよう要請する。
	旧東地区トレーニングセンターの代替施設の要望	旧東地区トレーニングセンターの新たな開放の要望	施設設立等は当面、厳しいと解答。（将来に向け引き続き要請） 旧東地区トレーニングセンターの代替施設は、各施設にボールの設置していたが、フットサルや冬の練習ができ、多くの団体が利用している。	
ファミリー拡大	キッズ指導者拡大とサッカー教室	HKFA公認キッズリーダー養成講習会の開催 川崎フロンターレ奈良選手のサッカー教室（120人参加） 明治安田生命主催のコンサボーリーサッカー教室の開催 北見市教員委託事業「Jアスリートアカデミー」サッカー教室 キッズ普及事業の取り組みを年度間わず行う	2020年度に向け、当協会の1種では解散チームがあり、2種～4種でもサッカー人口が年々減少傾向にある。子どものサッカー人口減少に危機感を示しており、少子化で自然に減る傾向もあるが、引き続き普及事業の取り組みを行う。	キッズ指導者拡大とサッカー教室及び市内幼稚園・保育園への巡回指導等と地区協会との連携による一環指導協力連携を図る。女子及び1種・シニアへの技術的な取り組みを検討していく。サッカー環境の改善を図る。審判員の増員・強化について取り組みを検討。キッズの保護者も含め、指導者全般の増加・育成を図る。積極的かつ粘り強い広報活動を行い普及強化に努める。
		シニア世代の普及		
		女性がサッカーをしやすい環境の充実。 女子でのチーム登録目指す		
女子サッカー選手増加		オホーツク地区協会、社会人サッカー連盟との連携した大会の参加 ミックスによるフットサル大会 大人対象のサッカー教室の開催。 高瀬選手サッカー交流会の開催（30名参加）	2019年度には北海道U-18女子サッカー選手権大会が北見モイラスボーッワールドで開催。また、同年12月には地区協会と連携してフットサル大会を開催。当協会は地区協会と連携して女子サッカーの活動の場にかかわっている。また、社会人サッカー連盟が主催しているミックスの大会にも女子選手参加も増加しており、徐々にではあるが網走管内もしくは当地区で女子チームが形成しつつあるように思われる。	女子は中学生年代では減少していると思われる、中学校に入ってから、活動する場を見つけれず、やむを得ず他の競技に移ってしまう。中学校が抱える部活動の難しさを、好事例を参考に解決したい。また、普及において女性指導者を増やし、夫人になってからサッカーを始める女性もいるため、年齢問わず女性を増やしていくために、普及が大切な段階だと考える。

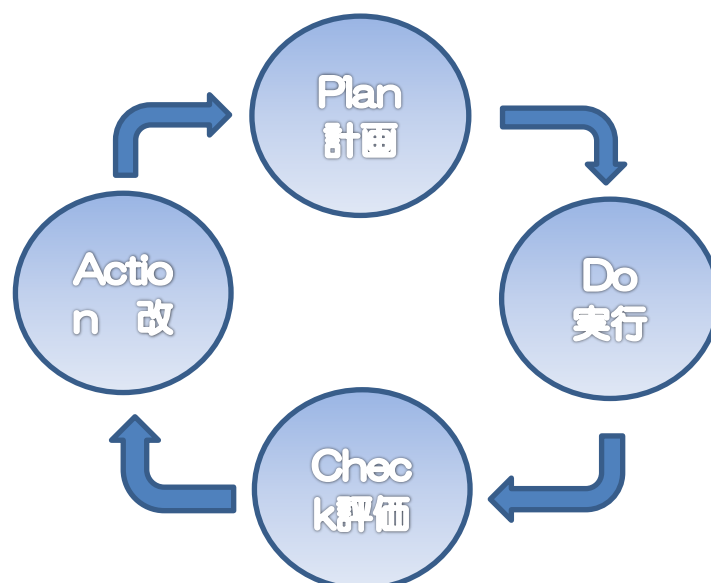
令和2年度 網走市サッカー協会 事業計画

1. 4月 網走市サッカー協会 総会をエコーセンターで開催
2. 4月～3月 キッズサッカー教室の開催を支援（用具等の貸与、補充）
網走市サッカースポーツ少年団（毎月1回、第2土曜開催）
NPOあばしりスポーツクラブ（毎月1回、第2土曜開催）
3. 4月～3月 道東大会、全道大会に出場するチームに対し、助成金を支給。
（10,000円/1大会、登録されている全チームに適用）
4. 9月 第34回オホーツクジュニアカップサッカーin2019を後援。
会場は網走スポーツ・トレーニングフィールドの天然芝を使用予定。
4種小学生が対象
5. 9月12日（土） 第16回 全道社会人選抜サッカー大会を主管or後援予定。
13日（日） 会場は網走スポーツ・トレーニングフィールドの天然芝2面を使用
全道各地区選抜の8チーム前後、170名程度が参加予定。
6. 2月 第22回 網走市サッカー協会 ビールパーティーを網走セントラル
ホテルで開催予定。

OKFA〔網走市サッカー協会〕 16→25プラン

16→20版

Plan（計画）	1. 女子選手の増加を目指して。 2017年度より、網走市サッカー協会所属の女子チームFC網走meninaにU-15（中学生年代）が始動。 本協会としてサポートできる方策を検討する。 2. 施設の充実。 網走市総合体育館が耐震化改修の計画を検討している。 現在は施設の構造上フットサルでの使用は認められていないが、フットサルで利用可能な構造となるよう要請する。
Do（実行）	1. 女子選手の増加を目指して。 網走市サッカー協会総会の承認を得る前ではあるが、チームへの助成金支給、練習場所の確保に関するものを検討する。 2. 施設の充実。 網走市総合体育館と連絡を密にとり、施設改修計画にフットサルでの利用が可能となるよう要請活動を行う。
Check（評価）	1. 女子選手の増加を目指して。 チームにおいて、本協会のサポートが希望するものであるかどうかも含め、聞き取り調査をし、理事会に諮り評価する。 ※ FC網走menina（女子）として登録、助成金を支給。 小学女子から中学女子への移行が困難な状況。 2. 施設の充実。 2017年度の網走市の予算に計上されるか否か。 要請活動のみで良いかどうかも含め、理事会において評価する。 ※ 網走市総合体育館の耐震化改修の計画は白紙。 一部改修により、フットサルでの利用が可能となる。
Action（改善）	2025年度末に評価を行い、次回に向けプランの修正を行う。



紋別サッカー協会 2020年度事業計画

1 主催事業

- ・4月 紋別サッカー協会役員会・総会
- ・11月14（土）・15日（日） 会長杯フットサルジュニアサッカー大会
対象 幼児～小学生

2 主管・後援事業

- ・コンサドーレサッカー教室（後援）
- ・コンサドーレ選手交流会（後援）
- ・小野寺慎吾障がい者スポーツ振興会事業（後援）
- ・1月 オホーツク文教宣言協議会フットサル大会（主管）
対象 小学生～中学生
タナカスポーツ杯フットサル大会（主管）
対象 一般
- ・2月 市民フットサル大会（主管）
対象 幼児・小学生・一般（中学生以上）

※各種事業を通じサッカーファミリー拡大を図る。

3 (株)北海道コンサドーレとの連携強化

「紋別市と(株)コンサドーレとの相互交流に関する協定」に基づき、スポーツを通じた相互交流関係の推進のため、紋別サッカー協会も連携を図る。

○主な取り組み

- ・指導者派遣に伴う市内各チームへの指導
- ・未就学児、未経験者へのサッカー教室開催（巡回含む）、体づくり教室等のサポート
- ・市、協会、コンサドーレ紋別後援会と一体となったサポート体制の構築

遠軽サッカー協会 令和 2 年度 事業計画

- 6月 7日（日）：第 6 回遠軽信用金庫杯 U-10 サッカー大会
対象 4 年生以下
場所 えんがる球技場
- 8月 8日（土）：第 16 回がんぼうカップサッカー大会
対象 5 年生以下
場所 えんがる球技場
- 9月 5日（土）：第 31 回遠軽サッカー協会親睦交流会（ビアパーティ）
場所 遠軽町福祉センター 2 階大ホール
- 9月 22日（火）：第 15 回遠軽キッズサッカーフェスティバル
対象 幼稚園年長児、1・2 年生、幼稚園年長児及び 1・2 年生の母
場所 えんがる球技場
- 10月 11日（月）：第 29 回遠軽サッカー協会会長杯中学校サッカー大会
場所 えんがる球技場
- 3月 6日（土）：第 19 回遠軽サッカー協会会長杯フットサルジュニアサッカー大会
対象 幼稚園年長児、小学校各学年
場所 遠軽町総合体育館
- 3月 7日（日）：第 40 回遠軽室内サッカー大会
対象 中学生以上
場所 遠軽町総合体育館

＜女子選手数倍増計画、ファミリー拡大＞

遠軽町において、過去、少年団に数名の女子選手が在席していたことはある。

しかしながら、女子の仲間がいない等という理由から、なかなか練習が続かないのが現状であった。

現在も小学 1・2 年生のサッカー教室で続けている女子は数名いるが、3 年生以降、少年団に参加している女子はいない。そのため、女子選手の増加を進めるためには女子チームの設立が必須であると考ええる。(遠軽町では、1・2 年生の男子と 1～6 年生の女子を対象として、サッカー教室を開催している。)

しかし、遠軽町のみで女子チームができるほどの人数が集まることは難しく、『遠紋地域チーム』として『クラブチームの設立』と併せて考えていく必要がある。

また、遠軽町では、サッカー教室(1・2 年生の男子、1～6 年生の女子)とサッカー少年団(3～6 年生)を組織しており、継続的なサッカー人口の確保・増加を目指しているが、少子化や子供の習い事の多様化もあり、団員数も年々減少、今後も減少を辿る見込みである。

また、近隣の少年団もその傾向は変わらず、4 年生以下のカテゴリーでは、単一の少年団で出場できないチームもある。

また、3 種年代でも、単一の学校でサッカー部を維持することができないことも近い将来予想され、近隣ではサッカー部のない中学校も存在することから、サッカーをやりたくてもできない子どももいるはずである。

今後は、『クラブチームの設立』により、4 種・3 種年代の選手の受け皿を作り、遠軽町だけではなく、近隣市町村の選手も活動できる組織としていく必要がある。

ただし、これにはスタッフの確保が最大の問題となり、現在の少年団スタッフと中学校の教員との連携により解決しなければならない。

現在は、具体的な設立時期を想定していないが、近い将来必ずやらなければならない課題として、早期に計画の具体化を図りたい。

＜施設の充実＞

遠軽町では「えんがる球技場」(平成 29 年度供用開始)が建設され、それまでを超える大会等イベントの誘致に繋がった。これからも、積極的に大会誘致等を行い、加えて、町内サッカー人口の増加を目的とした施設の利活用を進めていきたい。

しかしながら、北海道における冬季のフルサイズのサッカー場を確保すること、それを最重要課題と考えると、建設費用など、やはりその実現は難しいものとする。

令和2年度 斜里サッカー協会 事業計画(案)

日 付	事 業 名	開催地	対 象	備 考
5月	役 員 会	ゆめホール知床	会 員	
5月	総 会	ゆめホール知床	会 員	
8月	キッズサッカー巡回指導	双葉保育所	U6	
8月	キッズサッカー巡回指導	中斜里保育所	U6	
8月	キッズサッカー巡回指導	はまなす保育所	U6	
8月	キッズサッカー巡回指導	大谷幼稚園	U6	
10月	ハマナスマラソンキッズサッカーフェス	陸上競技場	U6	
10月	【リスペクト】陸上競技場ゴミ拾い	陸上競技場	シニア～4種	
	オータムサッカーフェスティバル	陸上競技場	シニア～4種	
2月	こども雪中サッカー大会(しゃりっこらんど)	斜里中学校	一般小学生	
2月	斜里町フットサルフェス	斜里中学校	一般(3種～シニア)	
2月	斜里ジュニアフットサルフェス	斜里中学校	4種	
毎週火、土曜日	協会主催練習会	斜里中学校 体育館	シニア～3種	
月1回	キッズサッカー教室	中斜里公民館体育館	U6	
広報活動	斜里サッカー協会FBページの随時更新			

斜里サッカー協会

令和2年3月21日

OKFA 16→25プラン達成に向けて【令和元年度活動報告】

【令和2年度実行計画】

重点課題	計 画	実 行	検 証	修 正	担 当
①リーグ文化の醸成	・1種登録チームの復活 ・サッカー、フットサルフェスを開催	・他地域のプレイヤーとの連携・情報交換 ・サッカー、フットサルフェス未実施	・施設の充実とサポートが必要 ・登録微増、協会練習参加者増	・計画継続 ・計画継続	千葉 成 田
②女子選手倍増計画	・なでしこひろばへの参加 ・女子フェストライバルへの参加 ・親子サッカーの定期開催	・なでしこひろばへの参加 ・女子フェストライバルへの参加(2回) ・親子サッカーの開催(3回)	・女子登録数8人→9人へ ・女子フェス参加、親子サッカー開催の効果として保護者、参加者増	・計画継続 ・計画継続 ・計画継続	横 山
③施設の充実	・斜里町に施設整備(オールシーズン利用可)の要望をあげる ・陸上競技場の施設管理を斜里サッカー協会で行う	・未実行(人工芝コート検討中の為) ・計画通りの実行	・経過観察 ・現状維持	・計画継続 ・計画継続	成 田 門 間
④みんなつながっている	・各カテゴリーに情報担当者を配置し、SNS等を利用して積極的に情報発信を行う	・計画通りの実行	・当協会の活動報告・情報共有の場として有効活用	・計画継続	各担当

OKFA 16→25プラン達成に向けたスケジュール

斜里協会 総会	P	各プラン承認	R2	5月中～下旬
プラン承認後	D	実 行	R2	シーズン
斜里協会 役員会	C	プラン検証	R2	3月初旬
斜里協会 総会	A	プラン修正	R3	5月中～下旬

斜里サッカー協会

OKFA 16→25プラン達成に向けて【令和2年度 事業計画】(案)

重点課題	計 画	実 行	検 証	修 正	担 当
①リーグ文化の醸成	・1種登録チームの復活 ・サッカー、フットサルフェスを開催				千葉 成 田
②女子選手倍増計画	・なでしこひろばへの参加 ・女子フェスイベントへの参加 ・親子サッカーの定期開催				横 山
③施設の充実	・斜里町に施設整備(オールシーズン利用可)の要望をあげる ・陸上競技場の施設管理を斜里サッカー協会で行う				成 田 門 間
④みんなつながっている	・各カテゴリーに情報担当者を配置し、SNS等を利用して積極的に情報発信を行う				各担当

OKFA 16→25プラン達成に向けたスケジュール

斜里協会 総会	P	各プラン承認	R2	5月中～下旬
プラン承認後	D	実 行	R2	シーズン
斜里協会 役員会	C	プラン検証	R2	3月初旬
斜里協会 総会	A	プラン修正	R3	5月中～下旬

令和2年度 美幌町サッカー協会 事業計画

月日	事業内容	備考
令和2年		
5月～	びほろサッカー教室	小学生低学年を対象としたサッカー教室
5月～	幼稚園サッカー教室	藤幼稚園、大谷幼稚園にて実施
7月 19日	第35回北網地区社明杯少年サッカー大会 兼 第 9回ライオンズクラブカップサッカー大会	美幌町あさひ多目的運動公園、 美幌中学校にて開催
10月予定	美幌町秋季体育祭会長杯争奪サッカー大会	グラウンド開催か新規サニーセンター開催か 調整中
令和3年		
3月予定	美幌町ジュニアフットサル大会	両日ともサニーセンター開催予定
3月予定	美幌町交流フットサル大会	

AAFA 16→25プラン実行について

①施設の充実

美幌町屋内多目的運動場(サニーセンター)が今秋(10月予定)開放予定です。
ピッチは人工芝となり、年間使用可能になる為、トレーニング、降雨による夏場の悪天候時の対処方法に
選択肢がより増えると思われる。

②女子選手倍増計画

例年通りサッカー教室を通して増加を目指しています。
増加とはいかないまでも参加は確実にあり、現在は事業の継続が一番と考えられる。

③リーグ文化の醸成

リーグ戦を通し、美幌町内の各カテゴリー、各チームは力をつけ確実にレベルアップしている。

④みんなつながっている

フェイスブック等SNSを通し情報発信または確認する等、利用を進めている。
より多くの人に伝わるシステムを目指す。

令和2年度 美幌町サッカー協会 事業計画

月日	事業内容	備考
令和2年		
5月～	びほろサッカー教室	小学生低学年を対象としたサッカー教室
5月～	幼稚園サッカー教室	藤幼稚園、大谷幼稚園にて実施
7月 19日	第35回北網地区社明杯少年サッカー大会 兼 第 9回ライオンズクラブカップサッカー大会	美幌町あさひ多目的運動公園、 美幌中学校にて開催
10月予定	美幌町秋季体育祭会長杯争奪サッカー大会	グラウンド開催か新規サニーセンター開催か 調整中
令和3年		
3月予定	美幌町ジュニアフットサル大会	両日ともサニーセンター開催予定
3月予定	美幌町交流フットサル大会	

AAFA 16→25プラン実行について

①施設の充実

美幌町屋内多目的運動場(サニーセンター)が今秋(10月予定)開放予定です。
ピッチは人工芝となり、年間使用可能になる為、トレーニング、降雨による夏場の悪天候時の対処方法に
選択肢がより増えると思われる。

②女子選手倍増計画

例年通りサッカー教室を通して増加を目指しています。
増加とはいかないまでも参加は確実にあり、現在は事業の継続が一番と考えられる。

③リーグ文化の醸成

リーグ戦を通し、美幌町内の各カテゴリー、各チームは力をつけ確実にレベルアップしている。

④みんなつながっている

フェイスブック等SNSを通し情報発信または確認する等、利用を進めている。
より多くの人に伝わるシステムを目指す。